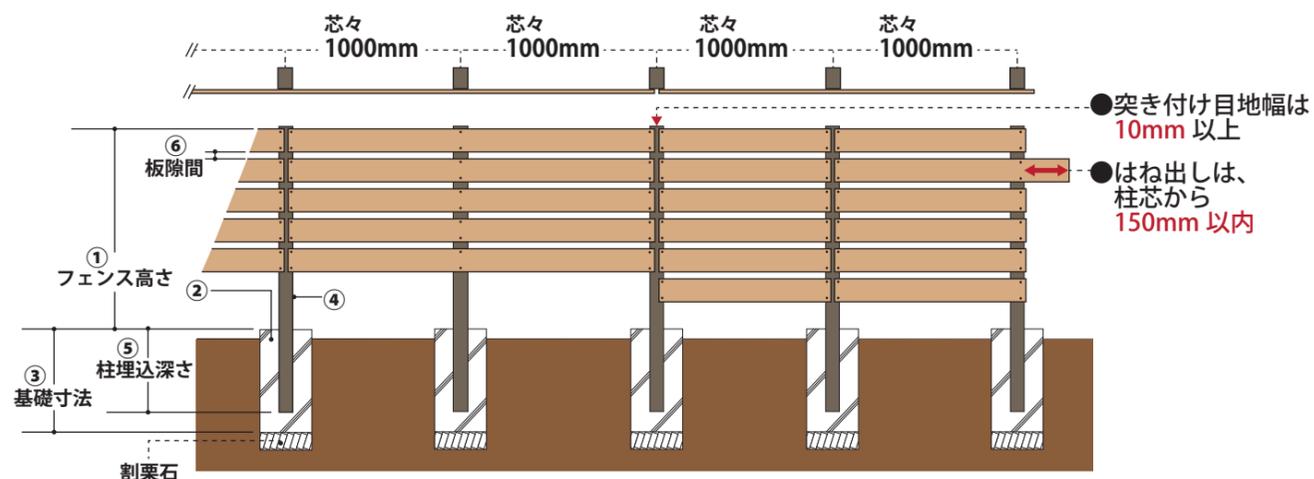


目隠しフェンス・ルーバーの施工方法

横張りフェンスの施工方法



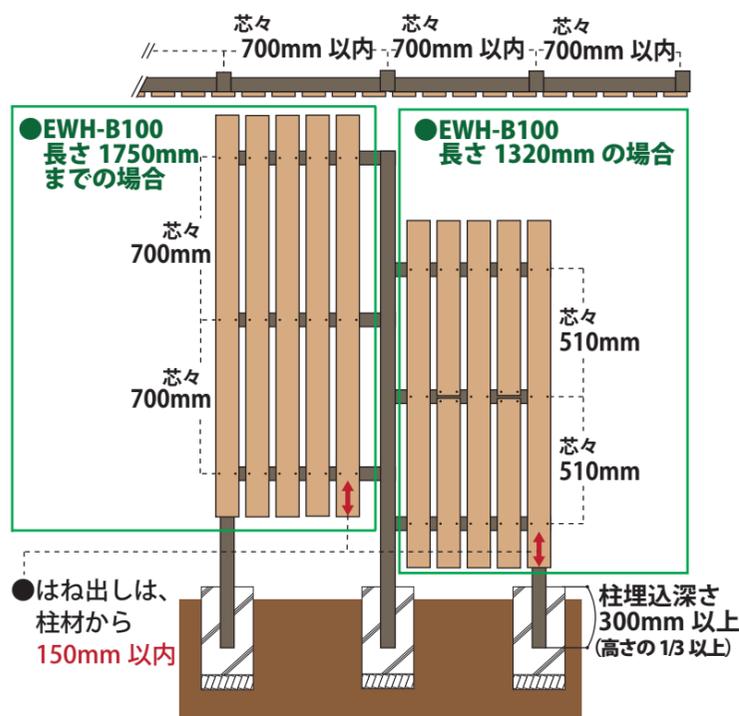
① フェンスの高さが 1201mm 以上～ 1500mm 以下

- ② 使用基礎：独立基礎ブロック 又は、コンクリート基礎
- ③ 基礎寸法：巾 450×厚 450×根入 450 以上
- ④ 使用する柱：EWH-L90(無垢柱材)
- ⑤ 柱埋込深さ：300mm以上 (高さの 3分の1 以上)
- ⑥ 板隙間：5mm 以上
突き付け目地幅は 8mm 以上

① フェンスの高さが 1501mm 以上～ 2000mm 以下

- ② 使用基礎：独立基礎ブロック 又は、コンクリート基礎
 - ③ 基礎寸法：巾 450×厚 450×根入 550 以上
 - ④ 使用する柱：EWH-A65R(アルミ芯材) EWH-L100(中空柱材)
 - ⑤ 柱埋込深さ：500mm以上 (高さの 3分の1 以上)
 - ⑥ 板隙間：5mm 以上
突き付け目地幅は 8mm 以上
- ※アルミ芯材を埋め込み固定後、露出部分に L100 をかぶせて芯材にビス固定

縦張りフェンスの施工方法

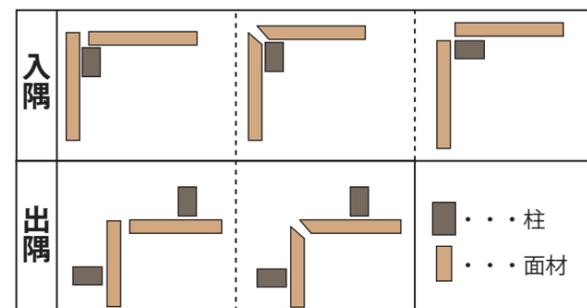


※参考例は施工場所や条件により埋め込みの深さや柱の固定方法、追加の支え柱などが必要になります。

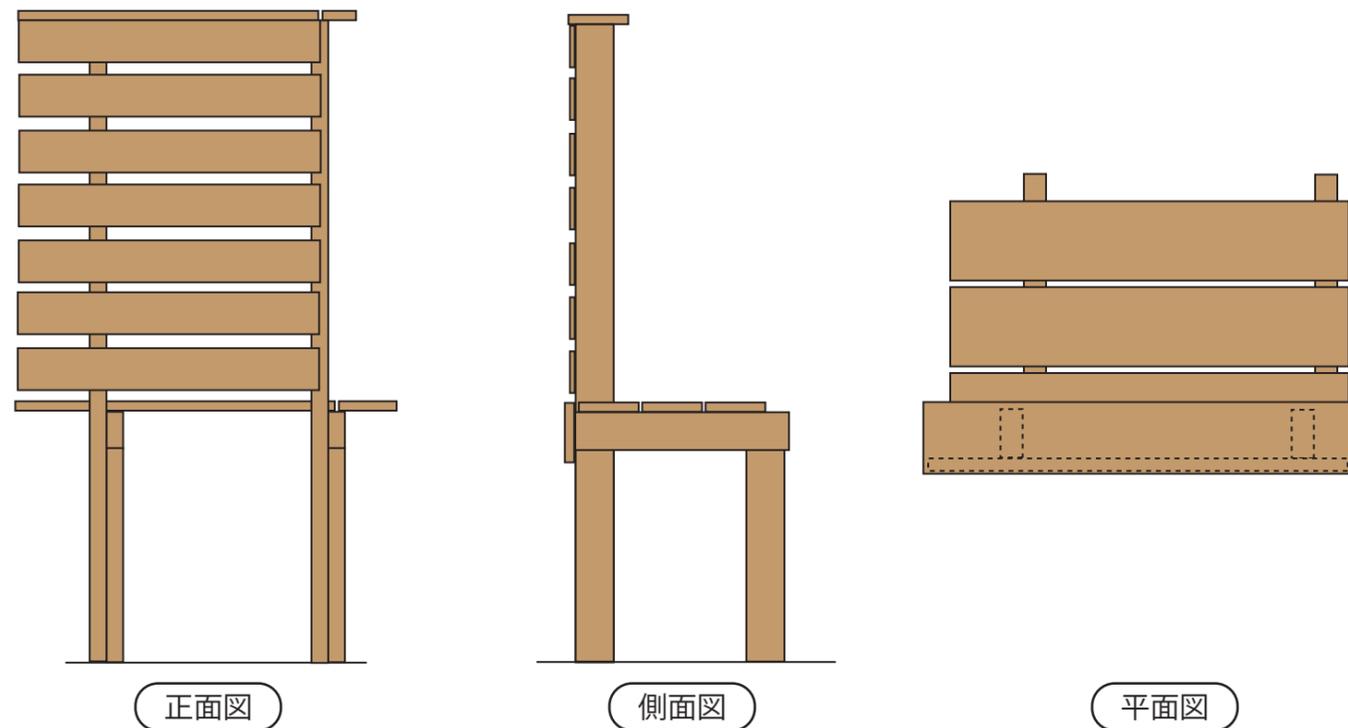
※EWH-L100 (中空心材) は 65mm までの芯材のご利用を推奨しています。モルタル充填など、中に隙間なく物を入れると割れの原因となるのでご注意ください。

※長手方向へ繋ぐ場合伸縮の影響を考慮し、10mm程隙間を設けてください。また、端部の固定箇所の下穴は、楕円形 を推奨します。

■ コーナーの納め (上面図)



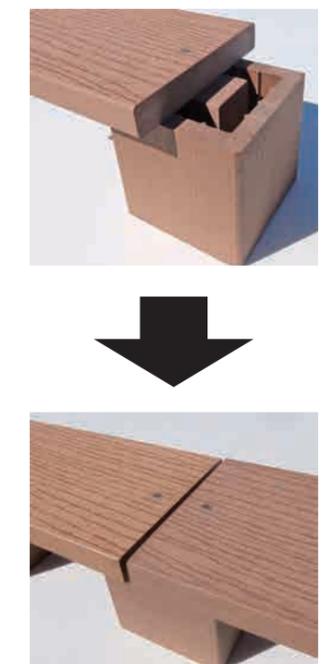
手摺フェンスの施工ポイント



※1 束柱と通し柱が別



※2 束柱と通し柱を共用



※3 笠木 (手摺) は芯材に固定

手摺フェンスの施工には、束柱とは別に通し柱を土間から使用する方法を推奨しています。(※1) 柱は、束柱の側面に設置・固定をしてください。束柱とフェンス柱を共用し柱側面で根太をアングル固定する方法(※2)は、根太を支える強度・デッキ外側に掛かる力に弱いため補強してください。笠木(手摺)を固定するには、中空柱材の断面にビス固定はできません。空洞部分に固定元となる材を施しその部分に固定してください。(※3) 低床デッキなど柱材をデッキ床組に固定できない場合は、支え柱での補強が必要です。